

| | |
|----------------------|---|
| 2 事業の目的と概要 | |
| (1) 事業概要 | <p>タイ国ターク県のミャンマー人移民に対して、タイ国に登録されているスワニミット財団を通じ、新型コロナウイルス感染症対策を含む医療支援を実施する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症は感染症としての直接的影響だけでなく、他疾患の蔓延や治療の遅延、移民への社会的・経済的なネガティブなインパクトがすでに問題になっており、新型コロナウイルス感染症対策は保健医療支援の喫緊の課題である。</p> <hr/> <p>Emergency medical and humanitarian assistance for Myanmar migrants in the Thailand-Myanmar border area will be provided through Suwannimit Foundation in Tak Province, Thailand. The focus of the project will be to provide health and medical support in response to COVID-19 pandemic.</p> |
| (2) 事業の必要性と背景 | <p>(ア) 事業実施国における一般的な開発ニーズに沿った事業</p> <p>タイ国においてミャンマー人移民の健康を確保することは、タイ国民を含むタイ国全体の健康を確保することにもつながることから、タイ国は積極的な移民労働者に対する保健政策を進めてきた。しかしながら新型コロナウイルス感染症の蔓延は、現在ミャンマー人移民社会、タイ社会において脅威となっており、地域の自立発展性を脅かすものになっている。</p> <p>タイ国内における移民問題は、隣国ミャンマーとの共通の政治的・社会的課題の1つである。国連の報告によれば、タイ国内のミャンマー人移民労働者は2017年に183万人と推定されている。これら移民への支援はミャンマー人移民のコミュニティ組織、国際機関や国際NGOなどが担っているが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により医療支援のニーズは更に高まっている。2021年7月現在、ターク県メソト郡だけでもミャンマー人移民を中心に1,600人以上の感染者が報告されている。本事業は、ミャンマー人移民が受けられるタイ国内での保健医療サービスを強化することによって、ミャンマー人移民へのコロナウイルス感染に対応するだけでなく、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによるタイ国での保健医療崩壊を防ぐことにもつながると言える。</p> <p>(イ) なぜ申請事業の内容（事業地、事業内容）となったのか</p> <p>スワニミット財団は長年にわたりタイ国ターク県のミャンマー人移民へ医療支援を行ってきた。同財団は、単なる医療の提供だけでなく、ミャンマー人移民コミュニティ組織の保健医療システムの強化、更に人権と教育の確保を含む人間の安全保障にも取り組んできた。本事業では、このスワニミット財団をカウンターパートとして以下の3点を実施する。</p> <p>1) タイ国ターク県における新型コロナウイルス感染症対応キャパシティの強化</p> <p>新型コロナウイルス感染症の蔓延に対応して、同疾患患者に対する治療の強化が急務である。同地域の医療施設全体の診療キャパシティを上げ、タイ国の病院ネットワークとの患者輸送システムとコンサルテーションシステムを強化することなしには医療崩壊を防げないと考えられる。これらのことから、同地域関連医療施設のスタッフの再教育による診療体制の強化と、連絡体制の強化を行う。</p> <p>2) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民コミュニティに対する感染予防・健康教育</p> <p>診療体制を維持するものとして、院内の感染症対策の徹底が必須である。当会は長年院内感染対策事業に取り組んできており、この経験を生かして新型コロナウイルス感染症に対する院内感染対策を行う。さらに社会全体で感染対策を行うことは単に新型コロナウイルス感染症の蔓延を防ぐだけでなく、教育や仕事の機会の創出につながる。そのため主に移民学校を通じて適切な健康教育とリスクコミュニケーションを行う。これは当会が実施してきた学校保健事業の経験を応用</p> |

して実施する。
 また熱性疾患（新型コロナウイルス感染症、デング熱、チクングニア熱、マラリアなど）の感染症管理のため、アルコール手指消毒剤、殺虫剤や忌避剤など昆虫媒介感染症予防のための物品も提供する。

3) タイ国内のミャンマー人移民への人道支援

タイ国ターク県のミャンマー人移民は、恒常的に基本的医薬品や食料等の生活必需品が不足しており、昨今の新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響でその状況は悪化していることから、基本的医薬品、医療器具、衛生用品等の生活必需品を供与する。

●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性

当事業は持続可能な開発のための2030年アジェンダにある誰一人として残さないための、そして格差是正のためのNGO連携によるきめ細かなアクションに直結する事業活動である。特にSDGsのゴール1「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」、ゴール2「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」、ゴール3「すべての人々に健康と福祉を」、ゴール4「すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、ゴール16「持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する」に寄与出来ると考える。

本事業は人権や少数民族の権利、移民労働者の権利や差別是正にも資するもので、当事業終了後もタイに存在するミャンマー人移民・難民のオーナーシップの下で運営を継続する。

| ジェンダー平等 | 環境援助 | 参加型開発 ／ 良い統治 | 貿易開発 | 母子保健 | 防災 |
|---------|------|--------------------|--------------|--------------|-----|
| 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 |
| 栄養 | 障害者 | 生物多様性 | 気候変動 (緩和) | 気候変動 (適応) | 砂漠化 |
| 2 | 1 | 9 | 0 | 0 | 0 |

●外務省の国別開発協力方針との関連性

日本政府はタイ国に対し、戦略的パートナーシップに基づく双方の利益増進及び地域の自立的発展の推進を基本方針に置いている。重点分野として（1）持続的な経済の発展と成熟する社会への対応、（2）ASEAN域内共通課題への対応があげられているが、現在新型コロナウイルス感染症はデルタ株のアジアへの流入により、アジア全域及びASEAN域内共通課題である持続性ある経済発展を脅かす事態を引き起こしている。本事業はタイ国、ミャンマー両国のみならずASEAN、アジア全域の安全にもつながると考える。

また日本は、現在まで病院と地域両面による感染対策によって欧米より低い感染率を維持してきている。課題は多く残っているが、死亡者を少なく抑えることにも知見を得てきており、これらの経験を早急に現地に還元できると考えている。さらに、タイ国への移民・難民社会へNPOとして介入することは従来の保健システムからこぼれ落ちてしまう集団を対象にすることになり、”誰も取り残さない”SDGsの推進にもつながる。

(3) 上位目標

タイのミャンマー人移民とタイ社会の、新型コロナウイルス感染症蔓延による脅威により悪化した医療状況を改善する。

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>(4) プロジェクト目標 (今期事業達成目標)</p> | <p>タイ国ターク県の医療状況及びミャンマー人移民の健康状況が改善される。</p> |
| <p>(5) 活動内容</p> | <p>1) タイ国ターク県における新型コロナウイルス感染症対応キャパシティの強化</p> <p>1)-1 新型コロナウイルス感染症診療体制の拡充</p> <p>①目的：ミャンマー人移民の間でも上述の通り感染者が増加しているためミャンマー人移民の診療は重要であり、同疾患の診断や隔離、人工呼吸器を要さないレベルまでの診療を適切に行う必要がある。そのために必要な医療資材を提供する。</p> <p>②内容：個人防護具、消毒薬、酸素濃縮器、酸素マスク、新型コロナウイルス抗原検査キット、鑑別診断のための Dengue 熱診断キット、医薬品などの提供。隔離病棟拡充の支援。現地派遣スタッフによる新型コロナウイルス感染症診療支援（現地スタッフの教育、補佐）。</p> <p>1)-2 タイ国ターク県の医療スタッフの再教育</p> <p>①目的：当会は 2008 年の設立から現在まで同地域の医療スタッフの知識・技術向上に寄与してきたが、その活動を拡充する。</p> <p>②内容：日常診療業務、勉強会、実技指導を通して、医療スタッフに知識および技術の移転を行う。</p> <p>③講師：当会現地派遣スタッフ、メソトの基幹公立病院であるメソト病院スタッフ、日本からの医療専門家</p> <p>1)-3 タイ国ターク県における新型コロナウイルス感染症への対応能力強化</p> <p>①目的：遠隔地のコミュニティでは新型コロナウイルス感染症による移動制限等のために医療機関へのアクセス困難が予想される。そのため遠隔地への医療物資供給や、保健医療活動を支える人材の育成及び能力強化を通じて、同地域の新型コロナウイルス感染症への対応能力強化を目指す。</p> <p>②内容：医薬品、消毒薬、個人防護具などの提供。新型コロナウイルス抗原キットを配布し、コミュニティボランティア、移民学校の保健担当教員などに使用方法を指導して疑わしい症状を有する人に検査を行うスクリーニング体制を確立する。オンラインで医療スタッフ、ボランティアのトレーニングを行う。</p> <p>③講師：当会現地派遣スタッフ</p> <p>2) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民コミュニティに対する感染予防・健康教育</p> <p>2)-1 新型コロナウイルス感染症を含む院内感染予防対策</p> <p>①目的：2021 年 7 月メソト郡で多数の感染者が発生した際に、医療施設及び近隣の関係団体スタッフにも複数の感染者が報告された。これを教訓に今後再び院内感染を起こさないように、医療スタッフのみならず関連団体スタッフにも感染予防策の理解、実践を徹底するよう指導、啓発する。</p> <p>②内容：講義、実技指導などを通じた医療スタッフの再教育。食事スペースへのパーティション設置などの環境整備。関連団体スタッフへの講義、啓発活動。同じ病院内で感染者が発生した際の対応プロトコルの作成。</p> <p>③講師：当会現地派遣スタッフ、メソト病院スタッフ、タイ保健省</p> <p>2)-2 移民学校における新型コロナウイルス感染症感染予防等の健康教育を通じた健康意識の向上</p> <p>①目的：移民学校の教員、生徒に新型コロナウイルス感染症に関する知識、感染予防対策を身に付けてもらうことで、学校内での感染、クラスター発生を防ぎ、学校閉鎖や学校から地域への感染拡大を防ぐ。</p> <p>②内容：学校での説明会、ポスター掲示などの啓発活動、教員の再教育。各種消</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| | <p>毒薬、マスクなどの配布。食事スペースへのパーティションの設置。</p> <p>③講師：当会現地派遣スタッフ、日本からの感染管理専門家、学校保健専門家</p> <p>2)-3 移民コミュニティにおける新型コロナウイルス感染症等の感染予防対策</p> <p>①目的：ミャンマー人移民に新型コロナウイルス感染症に関する知識、感染予防対策を身に付けてもらうことにより、地域での感染拡大を防ぐ。</p> <p>②内容：地域住民への説明会開催。ラジオ放送（ビルマ語、カレン語）などによる啓発活動。</p> <p>③講師：当会現地派遣スタッフ</p> <p>3) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民への人道支援</p> <p>①目的：ターク県におけるミャンマー人移民は恒常的に基礎的医薬品や衛生用品などの生活必需品が不足しており、人道的観点より支援が必要である。</p> <p>②内容：個人防護具、医薬品、医療器具、衛生用品、食料等の支援物資の提供。</p> <p>直接ひ益人口：タイ国ターク県医療機関延べ年間利用者数 58,392 人、入院患者数 4,427 人、出生数 1,196 人（2020 年実績。2020 年以降は新型コロナウイルス感染症対策に伴う国境閉鎖のため、以前より減少）、生活必需品供与対象者 5 万人、ターク県の医療関連団体職員 500 人</p> <p>間接ひ益人口：ターク県のミャンマー人移民 16 万人</p> |
| <p>(6) 期待される成果と成果を測る指標</p> | <p>1) タイ国ターク県における医療機関に対する新型コロナウイルス感染症対応キヤパシティの強化</p> <p>1-1) 同地域での新型コロナウイルス感染症診療体制の拡充</p> <p>成果：院内で適切な治療を行うことにより重症化を防ぎ、致死率が減少する。コミュニティ全体の健康増進。</p> <p>指標：設置された器材数は院内に責任者を定め、台帳を作成して管理する。治療を受けた患者数、改善した患者数、院内死亡者数は、院内の患者情報管理部門の管理台帳の記載を確認する。</p> <p>1-2) タイ国ターク県の医療スタッフの再教育</p> <p>成果：医療スタッフの知識、技術が向上し、診断、治療レベルが改善する。</p> <p>指標：講義の参加者数、講義前後のテストの点数、重要な手技の順守に関するモニタリング結果を、現地派遣スタッフおよび現地スタッフが確認する。</p> <p>1-3) 移民コミュニティの新型コロナウイルス感染症への対応能力強化</p> <p>成果：遠隔地で感染症対応ができる人材が育成、能力強化がされる。</p> <p>指標：医療物資の供給数は提供時に現地派遣スタッフ、現地スタッフが確認する。トレーニング試行回数、受けた人数を現地派遣スタッフおよび現地スタッフが確認する。物資の使用状況やコミュニティで発見される感染者数は、コミュニティボランティアや移民学校教員と月二回程度会議を行い、報告を受ける。</p> <p>2) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民コミュニティに対する感染予防・健康教育</p> <p>2)-1 新型コロナウイルス感染症を含む院内感染予防対策</p> <p>成果：同地域のスタッフが適切な感染予防策を取り、院内感染や病院閉鎖が起きない。新型コロナウイルス感染症終息後も次のパンデミックの備えができる。</p> <p>指標：院内感染者数は院内の患者情報管理部門の管理台帳の記載を確認する。病院閉鎖の有無、感染対策を実施出来ているかのモニタリング指標を現地派遣スタッフが確認する。</p> <p>2)-2 移民学校における新型コロナウイルス感染症感染予防等の健康教育を通じた健康意識の向上</p> <p>成果：教員、生徒の健康知識が向上し、適切な感染予防策が取れる。</p> <p>指標：啓発活動の回数、リーチした人数、啓発活動前後の質問の正答率を現地派遣スタッフが確認する。</p> <p>2)-3 移民コミュニティにおける新型コロナウイルス感染症等の感染予防対策</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>成果：ミャンマー人移民の健康知識が向上し、適切な感染予防策が取れる。コミュニティにおける検査・診療体制が拡充される。</p> <p>指標：啓発活動の回数、ラジオ放送の回数、リーチした人数、啓発活動前後の質問の正答率を現地派遣スタッフが確認する。</p> <p>3) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民への人道支援</p> <p>成果：感染症などから移民の生命、安全を守り、生活の質が向上する。</p> <p>指標：支援物資の輸送量、回数、リーチした人数を、各コミュニティリーダーなどと会議を毎月2回程度行い、報告を受ける。</p> |
| (7) 持続発展性 | <p>医療技術移転を通じタイ国ターク県の医療スタッフの知識・技術を向上させると共に、同地域の医療機関とメソットの基幹公立病院であるメソット病院、タイ保健省との橋渡しも行うことで、本事業終了後も本事業の成果を持続発展させることが出来る。</p> <p>また当会は設立当初の2008年から看護師・保健師・医師計8人を同地域の医療機関へ派遣し、各医療機関との信頼関係を構築してきた。本事業終了後も引き続き、モニタリングを含め事業評価、継続支援を実施する。</p> |